

ひまわり通信

(家庭数配布)

平成18年12月4日

新潟市立東青山小学校

学校評価特別号

日ごろ、東青山小学校の教育活動につきまして、ご理解、ご協力をいただき、感謝申し上げます。さて、東青山小学校では、春にお配りしたグランドデザインに沿って教育活動を行ってまいりました。その取組の様子につきまして、以下にご報告いたします。

なお、本日お配りした「学校評価のお願い」につきましてもお協力をお願いいたします。

1 学力の向上について

① 教育活動の見直しについて

今年度、2学期制の2年目を迎えました。昨年度初めて2学期制を行って初めての反省や、昨年度の学校評価でみなさんからいただいたご意見をもとに、今年度は次のような見直しを行いました。

- ・ 月末に行事や参観日が集中しないよう、月の半ばに参観日を設定するなど、学校にお家の方が来やすいように行事日程を見直しました。
- ・ 児童が参加しやすいよう、夏休みのサマースクールを3期に分け実施しました。また4年生以上の25メートル泳げない児童を対象にした、水泳練習も実施しました。
- ・ 教育相談日を1回2日間から1回3日間に分けて行い、児童と面談する時間を増やしました。また、面談の待ち時間を使って、担任外の教師が学習支援を行いました。

② 少人数指導の実施について

学級の人数の多い3年生、4年生、6年生の算数で少人数指導を実施しています。教師一人が担当する児童の数が少なくなることにより、一人一人の児童の指導に当たる時間を増やすことができました。

また、意図的に発表の機会を増やすなど一人一人の考えを大切にしながら学習に取り組んだり、学習のまとめの時期に習熟度別指導を取り入れたりしました。

③ 学習習慣の確立について

学校では週3回朝読書に取り組んでいます。こうした日常的な活動の影響もあり、10月までの一人平均の貸し出し冊数は64冊と、大変多くの児童が図書館を利用しています。

また、朝読書以外に、週2回朝学習を実施しています。15分間担任がついて取り組む時間を確保した結果、次のような成果がありました。

- ・ これまでに習ったことを再度確認するなど、既習事項の定着を図ることができました。
- ・ 授業で十分習熟できなかった課題を、繰り返しやらせることで理解を深めることができました。
- ・ 児童がドリル学習に繰り返し取り組む時間的ゆとりができました。

週2時間の朝学習を、授業時間に換算すると、年間で20時間以上になります。このような取組を継続することで、基礎基本の定着を図りたいと考えています。

④ 家庭学習の習慣化について

学校では家庭学習の習慣化のために、年度当初に配布した家庭学習の手引を活用するなどして、学年の実態に合わせて様々な指導をしています。その結果、次のような姿が見られるようになりました。

- ・ 家庭学習が20分未満の児童が15%から10%に減少しました。
- ・ 各学年とも、取組の様子や進度を細かくチェックしたり、漢字や計算のテストを定期的に行ったりするなどの手立てをとっています。それに向けて家庭学習をがんばる姿が多く見られるようになりました。

⑥ 職員研修の実施について

教員の授業力アップをめざして校内研修を進めています。今年度の研究主題を「学び合いを通して考える力を育む学習指導の在り方」とし、考える力を育てるための指導法について授業公開を行っています。

それぞれの学年で、全担任が研究教科を決め、担当する学年、学級の学力実態を分析し、考える力を高めるための指導法について研修を深めています。また、分かったことを説明したり、教え合ったりする活動を重視する授業に取り組んでいます。その結果、筋道を立てて考える力や、自分の考えを分かってもらうために画用紙に考え方を示して説明したりするなど表現力が向上しています。



2 いじめ・不登校の未然防止と思いやりの心の育成について

① いじめ防止のための取組

学校では、いじめ防止学習プログラムを作成し、全教育活動を通じていじめが起きない学校作りを実現するよう努めています。具体的には次のような手立てを行っています。

- ・ 4年生以上の全学級で、全児童を対象にした教育相談「ひまわりタイム」を今年度も3回実施しています。今年度は、より充実したものになるよう、一人一人の相談時間を増やしました。また事前にアンケートをとって話し合う内容を焦点化したりしています。また3年生以下はアンケートや日ごろの様子などから、随時担任が声かけするなど児童の心の状況を把握するよう努めています。
- ・ いじめや問題行動の早期発見に努めるため、休憩時間中、担任外職員による校舎巡視を行っています。
- ・ 児童の人間関係をうまく構築するための指導法（外部講師を招聘しての人権問題やモラルスキル・トレーニング、ソーシャルスキル・トレーニング、児童理解）について、職員研修を行いました。また、いじめに関する取組を職員自身がチェックリストをもとに自己反省し、今後の指導の改善に取り組んでいます。
- ・ 専門家（スクール・カウンセラー、市教育相談センター、市教育委員会学校指導課サポー

トチーム等)と連携を図りながら、全校体制で指導にあたっています。

- ・ ひまわり通信 40 号でもお知らせしましたように、いじめによる自殺事故を防止するため、昼の放送での校長講話を行ったり、具体的な資料や実話をもとに学級で実態に応じて話し合ったりして、児童の心に響く指導に努めています。

このように、小さなトラブルも見逃さないよう固い決意で学校体制を整えておりますが、学校が気付いていない部分もあるのではないかと考えています。気になることがありましたら、学校までお知らせください。

② 全校縦割り活動による異学年交流

今年度の教育活動の改善点の一つとして、「思いやる心、社会性や協調性を高め、豊かな心情を培う」ことをねらい、縦割り活動(異学年交流)を推進することとしました。その一環として、7月から縦割り清掃を行っています。下年生は上学年の話を素直に聞いて活動する姿、上学年は下学年のお手本となる思いやりのある行動が見られ、縦割り活動のよさが見受けられています。また縦割り班を活用して、文化祭の鑑賞カードを交換する活動を行いました。異学年の友だちからカードを書いてもらい、大切そうにしていた児童の姿が見られました。



③ 「個性を伸ばし、充実感を味わうことのできる」行事や体験活動、奉仕活動

学校では、年間を通して様々な行事や活動があります。そうした活動を通して、心の面でも次のような姿が見られました。

- ・ 運動会を通して、高学年のリーダーシップや協力性、全校一丸となって応援などに取り組む姿が見られました。
- ・ ふれあいコンサートの練習を通して、一人一人の力を合わせて一つのものを作り上げていくすばらしさを体験することができました。
- ・ 文化祭の作品作りを通して、自分の思いや願いを生かしながら、作品をよりよく作り上げていこうとする姿が見られました。
- ・ 東青山フェスティバルの準備を通して、みんなが楽しめるコーナーを作り上げるために話し合ったり協力し合ったりして準備したりするなど、集団として高まっていく姿が見られました。その他にも、学年だより等でお知らせしているような様々な学年の行事を通して、望ましい成長の姿がみられます。

3 体力の向上について

① 3年生以上での体力テストの実施と、体育授業での5分間の「体づくり運動」の導入

今年度、3年生以上で8種目の体力テストを実施し、実態把握に努めました。その結果につきましては、ひまわり通信34号でお知らせしたとおり、64項目(8種目×男・女×4学年)の内、県の平均を上回ったものが42(66%)、国の平均を上回ったものが39(61%)とな

りました。しかし、立ち幅跳びやソフトボール投げは全国の平均と比べてもやや低いレベルにありますので、これらの能力を高める必要があります。

今年度は、全校体制で次のようなことに取り組んでいます。

- ・ 体力づくり推進委員会を中心として、児童の健康・体力向上を図る取組の企画・運営
- ・ 体育の時間に 5 分間の体力づくり運動の実施(当校作成の体力向上プログラムの活用)
- ・ 「体力の記録」を作成・配布(6 年間分の記録を記載できるカード、学期末に配布)
- ・ 体育実技及び健康安全並びに食に関する指導についての職員研修の実施
- ・ 運動環境の整備及び遊びの奨励、シーズン制による運動の実施(マラソン、縄跳び)
- ・ 25m以上泳げない児童を対象にした、サマースクール(水泳教室)の実施



- 的あて(ターゲットマット)の様子 -

今、運動する子としない子が二極化していることが課題となっています。ゴムとびや竹馬など昔遊びの中に体力を高める運動がたくさんありますので、それらの遊びが生活の中で楽しめるような工夫が必要と考えています。

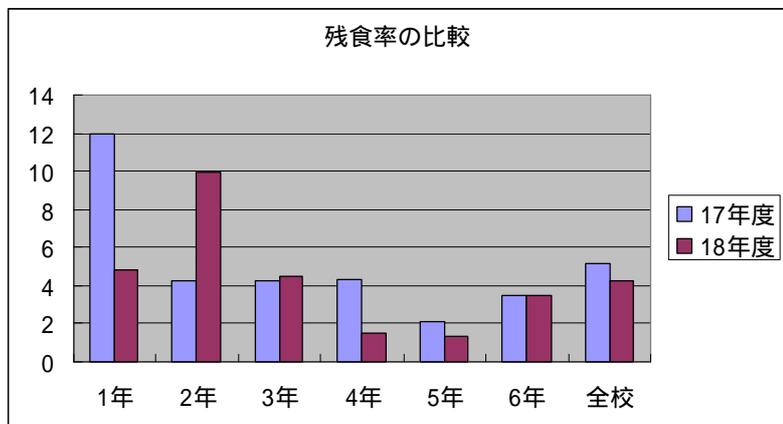
③ 養護教諭と栄養士による健康と食に関する指導について

今年度も、養護教諭や栄養士と連携して、児童が健康な生活ができるよう支援しています。

夏休みに栄養士や養護教諭を中心に健康面についての職員研修を行い、東青山小学校の児童の実態や課題について共通理解を図りました。それらをふまえ、歯みがきや栄養指導を

行うなど、各学年の発達段階に即した指導に取り組んでいます。

児童の基本的な生活習慣の確立は、ご家庭のご協力が欠かせません。今までのご協力に感謝するとともに、これからもよろしくお願ひします。



* 以前配布いたしましたひまわり通信は、東青山小学校ホームページにも掲載されています。ご覧ください。

<http://www.niigata-inet.or.jp/higashi/>

